

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.1.15/25 No. 125-2 連絡先 FAX 042-555-1911



2012年 初の横田座り込み お汁粉、歌、交流でにぎやかに

1月15日（日）は、横田基地の撤去をめざす第34回座り込み行動でした。

当日は、横田基地内で約1万人が参加したマラソン大会があり人通りも多く、展示したパラシュート降下訓練の写真をながら通りすぎる方もかなりいました。今年初の座り込みは、冷え込みましたが雨も降らず、良いスタートをきりました。

石の上にも3年、といますが座り込みも今年3月は丸3年で、4月には4年目に入ります。自衛隊航空総隊司令部の横田への移転は、3月末に完了ということになっています。演習や訓練なども、ますます露骨な基地強化が進んでいます。

航空自衛隊「横田基地」が新設されても、横田基地撤去めざしてがんばりましょう。

米軍横田基地はアフガン派兵の中継基地か？！

暮れから正月にかけて、アメリカの第25歩兵師団所属の旅のうち、アラスカの第4空挺戦闘団とハワイの第25戦闘航空団（ヘリコプター部隊）が、アフガンに派遣されたそうです。

アラスカは雪深くて訓練ができないので、アラスカの第4空挺戦闘団は米軍横田基地でパラシュート降下訓練をしたと思われます。ハワイの第25戦闘航空旅団も横田に立ち寄り、1月4日、横田から飛行機に乗り込んでいたことが、横田基地のホームページから分かりました。写真はチャーター機に向かう米軍兵士です。兵士は、アフガン向けの彩服を着ており、左の兵士の持っている帽子から、サーベルに6の数字をあらったエンブレムが読み取れます。これはハワイの戦闘航空旅団に所属する6騎兵連隊のものだということが分かります。

横田基地のホームページでは、「横田の航空兵と陸軍の兵員が統合航空遠征隊の作戦任務を支援」としています。陸軍兵士の所属部隊名を「第83歩兵師」と書いてありますが、この部隊は、第2次大戦が終わったあと退役していて、現在は存在しない部隊です。パラシュート降下訓練の部隊名を明らかにしなかったり、存在しない部隊の名前を使ったりしながら米軍は、横田基地をアフガンへの中継基地として使っています。横田は戦場に直結しています。



団
旅
挺
ま
横
ま
迷
し
第
部
団

日米共同統合演習（指揮所演習） 1月11日から実施

(No. 125-2 の裏面)

日米共同統合演習（指揮所演習）について、統合幕僚監部が1月10日付でお知らせです。

- 1 演習の目的 我が国防衛等の各種の事態に際しての自衛隊の対応と日米協力について検証・演練し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。
- 2 実施時期 2012年1月11日（水）～1月31日
- 3 実施場所 市ヶ谷地区、在日米軍横田基地、その他参加部隊等の所在地区等
- 4 統裁官 (1) 自衛隊：統合幕僚長 陸将 折木良一
(2) 米 軍：在日米軍司令官 空軍中将 バートン M. フィールド
- 5 演習参加部隊
(1) 防衛省・自衛隊 ア 内部部局 イ 統合幕僚監部（他略） ウ 陸上幕僚監部（他略） エ 海上幕僚監部（他略） オ 航空幕僚監部（他略） カ 自衛隊情報保全隊（他略） キ 情報本部
(2) 米軍 太平洋軍司令部、在日米軍司令部、在日米陸軍、在日米海軍、在日米空軍、在日米海兵隊等
(3) 関係省庁：内閣官房、外務省等
- 6 その他
(1) 日米共同統合演習（指揮所演習）は今回で19回目の実施となる。（第1回目は1972年度に実施）
(2) 日米共同統合演習（指揮所演習）に、初めて関係省庁が参加。
(3) 1月11日及び12日に、演習の中で特に省庁間調整等の演練を目的とした演習を実施する予定。
以上ですが、見過ごせないことが幾つもあります。10日付でお知らせし、11日には演習がはじまっている、初めて関係省庁が参加、11日と12日に省庁間調整等の演習を予定したことです。（これは何だったか）この演習はキーン・エッジと呼ばれる演習です。ヤマサクラ61とも合体した演習になるようです。

日米共同方面隊指揮所演習（日本）の概要について

このことについては、陸幕広報室から、2011年12月22日にお知らせが出ています。

場所は、伊丹駐屯地等。期間は1月24日（火）から2月6日（月）まで。演習参加部隊として、日本側の統裁官は中部方面総監 陸将 荒川龍一郎。実施部隊は中部方面隊等 約4,500名。

米軍側の統裁官は太平洋陸軍司令官 陸軍中将 フランシス・J. ワーシンスキー。実施部隊は太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、第8軍、米海兵隊等 約1,500名。

この他、日米豪防衛交流・強力の一環として、豪州陸軍から初めてオブザーバーを招へい予定。

*この演習がヤマサクラ61ですが、事前に発覚したシナリオとは、かけ離れた感じですが。

多国間共同訓練コブラ・ゴールド12への参加について

2012年1月12日、統合幕僚監部からのお知らせです。

- 1 目的 多国間共同訓練コブラ・ゴールド12に参加して、自衛隊の国際平和協力活動及び在外邦人等輸送に係る統合運用能力の向上を図る。
- 2 期間 2012年2月7日（火）から2月17日（金）
- 3 実施場所 タイ王国
- 4 訓練参加国（日本以外） アメリカ合衆国、タイ王国、シンガポール共和国、インドネシア共和国、大韓民国及びマレーシア等
- 5 訓練参加者（約70名） 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、西部方面隊、中央即応集団、陸上自衛隊衛生学校、航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空自衛隊補給本部、情報本部及び内部部局の要員
- 6 訓練内容 (1) 指揮所演習 (2) 国際平和協力活動に関する実動訓練
- 7 その他 自衛隊の要員は、2005年からコブラ・ゴールドに参加しており、本年は8回目の参加
*演習や訓練が続きます。平和協力といっても原子力の平和利用と同じです。軍事力で平和は築けません。